

# 最近の経営状況

2010年9月2日  
株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

1

## 目次

---

- I ポリシリコンの操業再開
- II 足元の市場環境
- III 生産対応
- IV 2010年度 業績予想

2

## I ポリシリコンの操業再開

### 尼崎工場

- ・ 一部設備が高圧ガス保安法に抵触し、5月21日から操業完全停止
- ・ 今般、改造工事が完了し、兵庫県より操業再開許可



操業再開時期 10年8月20日より設備を逐次立ち上げ、8月24日よりポリシリコン製造開始（操業停止期間91日）  
生産能力 年産900t（操業停止前 年産1500t）

### 岸和田工場

- ・ 大阪府の指導のもと同様の法対応のため設計変更工事中
- ・ 前回見通しでは完成時期の若干の遅れを見込むも、概ね当初計画通り11年2月から営業運転開始見込み  
→ 前回予想からは前倒しにより減価償却費が増加
- ・ 生産能力は計画通りの年産2200t

3

## II 足元の市場環境

- (1) チタン事業
- (2) ポリシリコン事業
- (3) 高機能材料事業

4

## 足元の市場動向

### ◆ 航空機用需要の増加

- ・ 在庫調整の進展
- ・ 航空旅客需要の増加
- ⇒ { 新機用需要(従来機)の増加  
リペアパーツ需要の増加
- ・ 合金スクラップ発生量の減少
- ⇒ スクラップ価格の上昇  
→ スポンジ配合率UP

### ◆ 国内展伸材用需要の回復

- ・ 在庫調整の進展
- ⇒ 在庫調整 → 在庫積み増しへ
- ・ 実需回復?

前回(10/5)見通し  
に対し、急速な需要  
回復



中期計画の想定を  
大きく上回る見込み

5

### ◆ 航空機用需要の増加

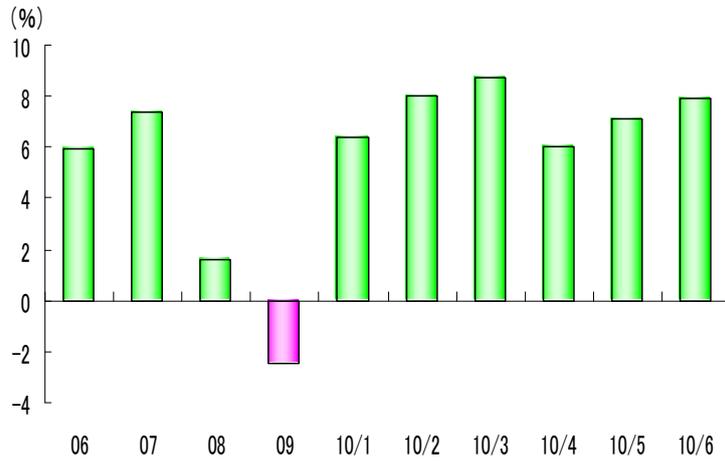
- ・ 在庫調整の進展
- ・ 航空旅客需要の増加
- ⇒ { 新機用需要(従来機)の増加  
リペアパーツ需要の増加
- ・ 合金スクラップ発生量の減少
- ⇒ スクラップ価格の上昇  
→ スポンジ配合率UP

6

<チタン市場環境>

otc OSAKA Titanium Technologies Co., Ltd.

### 輸送量(有償旅客距離)の伸び率(対前年)



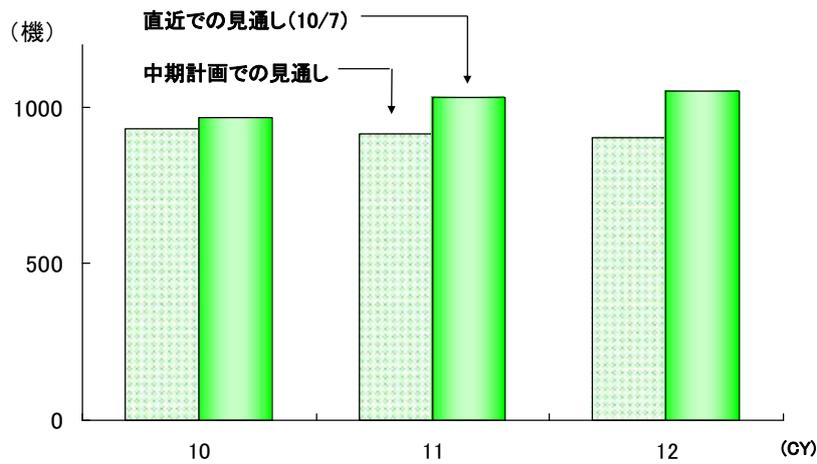
出典: IATAデータ

7

<チタン市場環境>

otc OSAKA Titanium Technologies Co., Ltd.

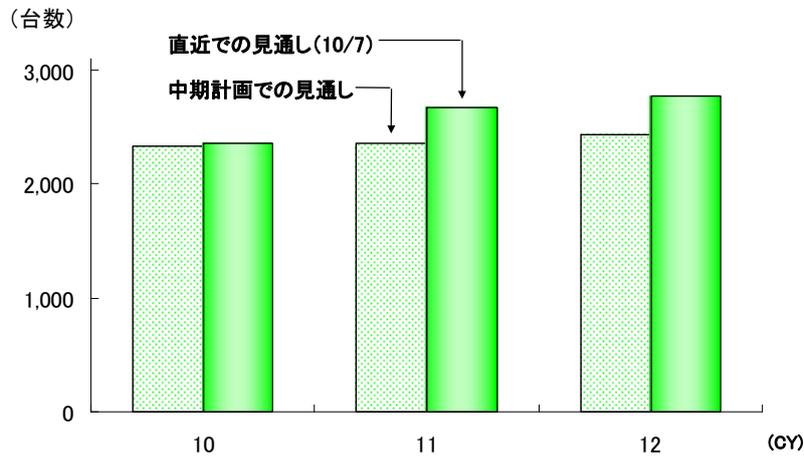
### ボーイング/エアバス納入計画(従来機)



出典: Airline Monitor

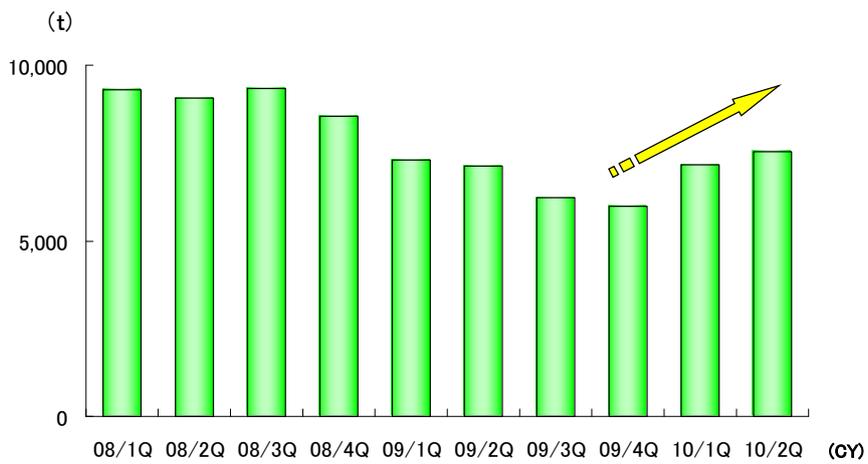
8

### 民間航空機用エンジン納入台数



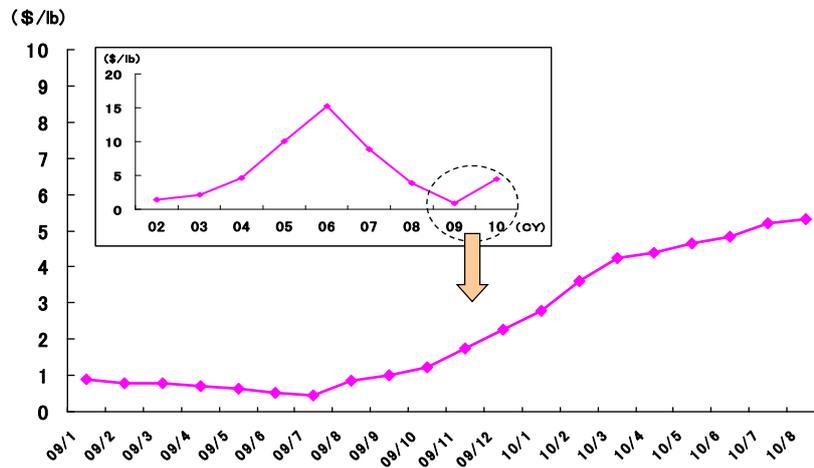
出典: Airline Monitor

### 海外大手3社チタン製品出荷量



出典: 当社調査

## 米国合金チタンスクラップ価格



出典: MetalPrice.comデータ

11

### ◆ 国内展伸材用需要の回復

- ・ 在庫調整の進展

→ 在庫調整 → 在庫積み増しへ

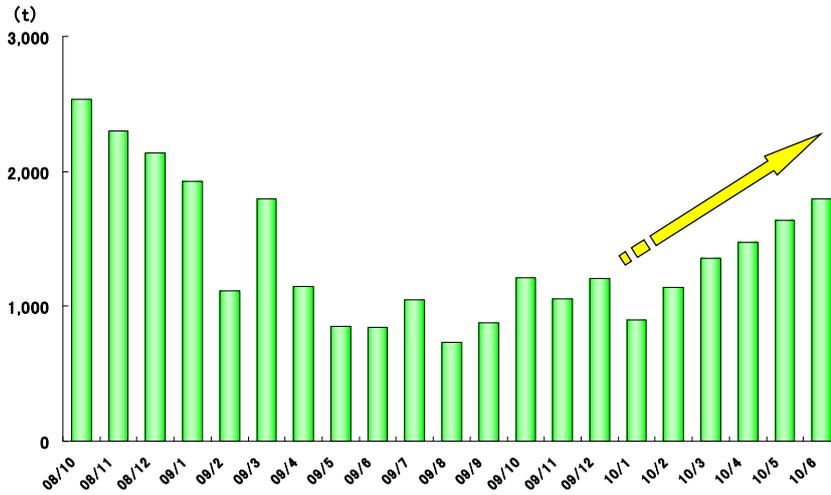
- ・ 実需回復?

12

<チタン市場環境>

otc OSAKA Titanium technologies Co., Ltd.

### 国内インゴット生産実績(月別)



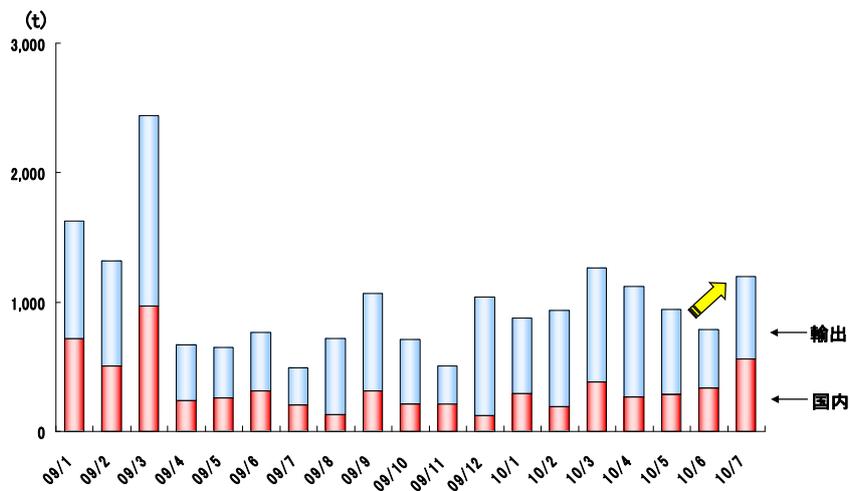
出典: 日本チタン協会データ

13

<チタン市場環境>

otc OSAKA Titanium technologies Co., Ltd.

### 国内展伸材の出荷実績(月別)



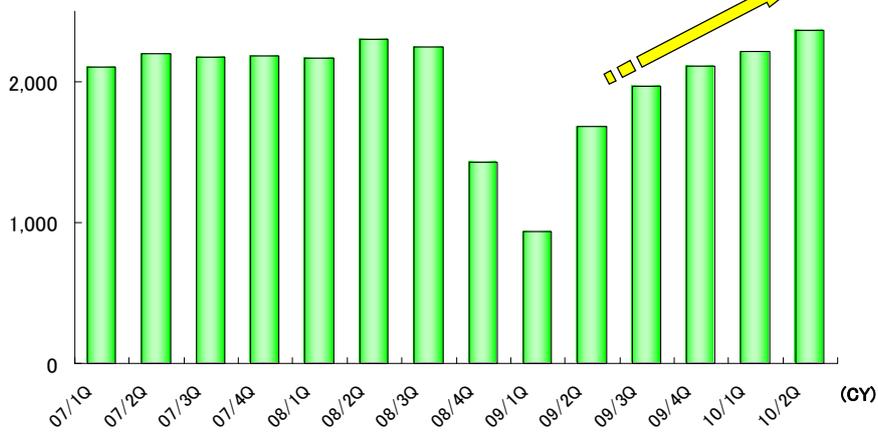
出典: 日本チタン協会データ

14

- ◆ 半導体市場 回復基調継続
  - ・10年第2四半期の世界シリコンウェーハ出荷は過去最高
  - ・ポリシリコンスポット価格反転

### 世界シリコンウェーハ出荷面積

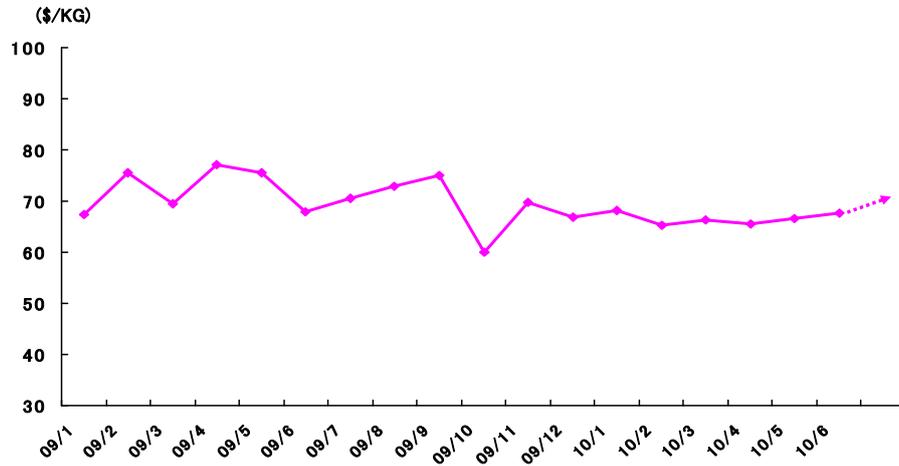
(100万平方インチ)



出典: SEMIデータ

<ポリシリコン市場環境>

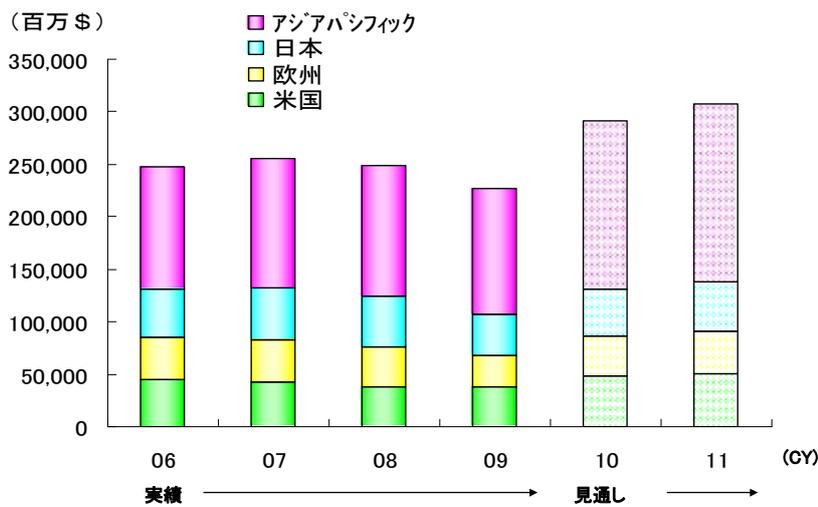
ポリシリコン スポット価格(輸出)



出典:新金属協会データ

<高機能材料市場環境>

世界半導体地域別需要



出典:WSTS

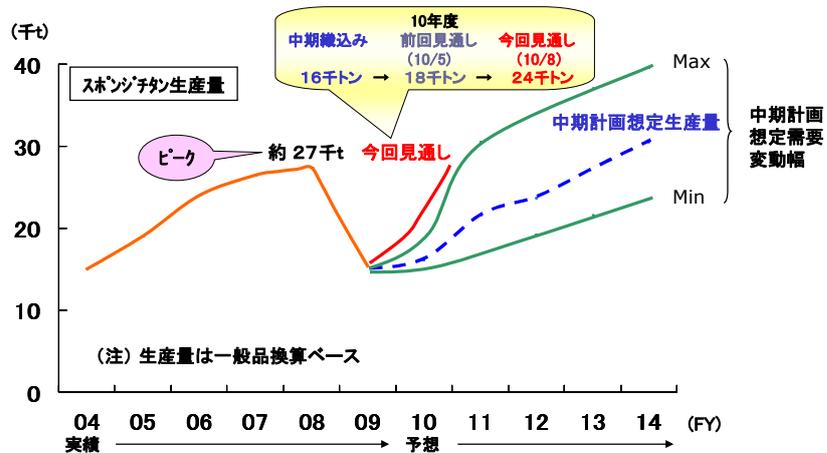
### Ⅲ 生産対応

- (1) スポンジチタンの増産
- (2) 高機能材料の増産

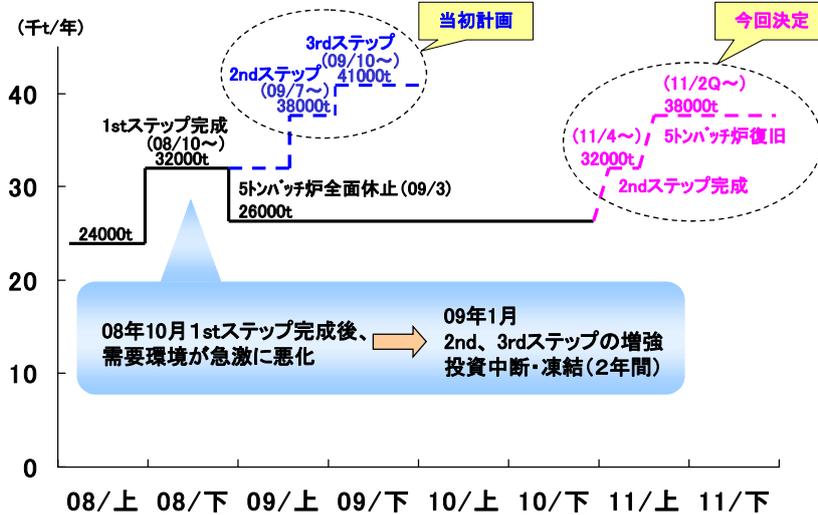
#### <チタン生産対応>

### 生産量の見通し

チタン需要回復により、生産量拡大・増産体制へ



## 能力増強投資計画



## スポンジチタン増産対応

- ◆ 2ndステップ増強投資の再開
  - ・能力増強 年産32,000トン→38,000トン  
(能力は休止5トンバッチ炉含む)
  - ・残投資額 11億円(全体計画投資額66億円)
  - ・工期 10年11月より順次立上げ、11年4月完成
- ◆ 休止5トンバッチ炉の再稼動
  - 工期・能力の優位性から3rdステップ増強投資再開より優先
  - ・再稼動能力 6,000トン
  - ・リフレッシュ費用
 

更新投資	11億円	2億円
補修費	15億円	9億円
計	26億円	11億円

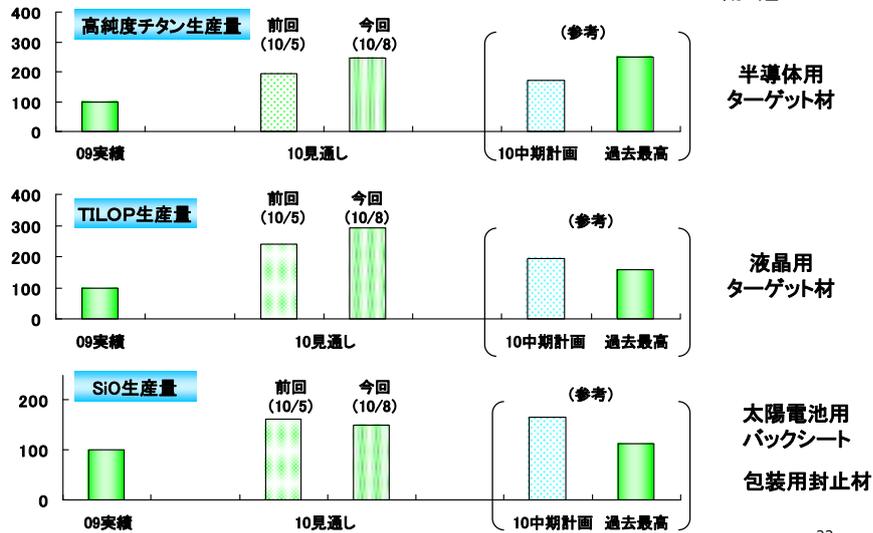
 (内10年度)
  - ・工期 11年度2Qより再稼動
- ◆ 要員対応
  - ・約100名の期間工(臨時社員)を新規採用(~10/12月)

<高機能材料生産対応>

## 高機能材料の増産対応

09年度を100とした指数

用途



## IV 2010年度 業績予想

## 2010年度 業績予想

	前回予想(5/28)			今回予想(8/25)			前回 →今回
	上期	下期	計	上期	下期	計	
売上高	12500	14000	26500	14400	17800	32200	+ 5700
営業利益	▲ 1200	▲ 1100	▲ 2300	▲ 800	▲ 4700	▲ 5500	▲ 3200
営業外損益	▲ 400	▲ 600	▲ 1000	▲ 400	▲ 300	▲ 700	+ 300
経常利益	▲ 1600	▲ 1700	▲ 3300	▲ 1200	▲ 5000	▲ 6200	▲ 2900
特別損益	▲ 1500	0	▲ 1500	▲ 1700	▲ 100	▲ 1800	▲ 300
税引前当期利益	▲ 3100	▲ 1700	▲ 4800	▲ 2900	▲ 5100	▲ 8000	▲ 3200
<b>当期純利益</b>	<b>▲ 1900</b>	<b>▲ 1000</b>	<b>▲ 2900</b>	<b>▲ 1700</b>	<b>▲ 2900</b>	<b>▲ 4600</b>	<b>▲ 1700</b>

(為替レート) (90円/\$) (90円/\$) (90円/\$) (90円/\$) (87円/\$) (88円/\$)

(注) 営業外損益 : うち休止設備償却費

前回予想 ▲ 550百万円  
今回予想 ▲ 200百万円

特別損益 : うちポリシリコン操業停止損

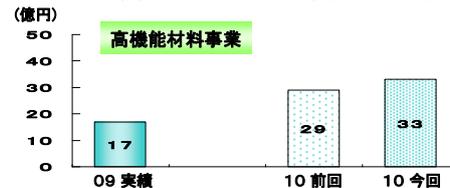
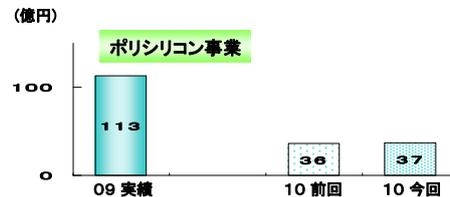
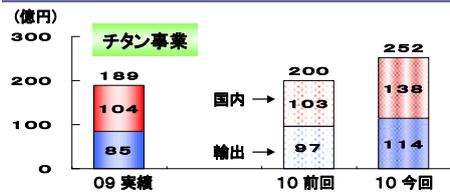
前回予想 ▲ 1300百万円  
今回予想 ▲ 1300百万円

資産除去債務

前回予想 ▲ 100百万円  
今回予想 ▲ 260百万円

25

## セグメント別売上高



差異内訳(10前回 → 今回) (億円)

	数量	単価	レート	計
チタン	+ 55	0	▲ 3	+ 52
ポリシリコン	+ 1	0	0	+ 1
高機能	+ 4	0	0	+ 4
計	+ 60	0	▲ 3	+ 57

26

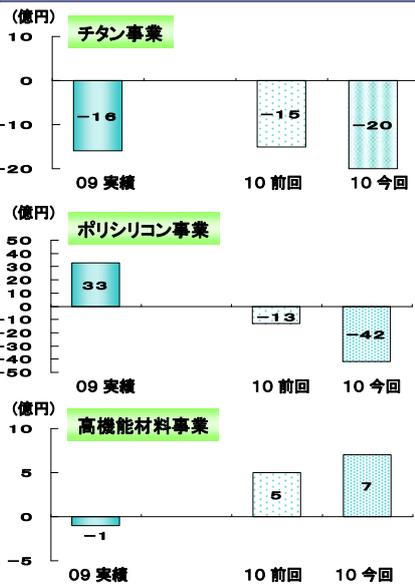
## 営業利益の増減要因

(億円)

好転要因		悪化要因	
販売環境の好転		増産関連コスト	
・チタン増 (販売増 +17) 休止設備再稼働 ▲3 (償却費) 増産による コストダウン +3	+ 17	・ポリシリコン 岸和田稼働前倒し ▲28 ・チタン (2ndステップ償却 ▲6 5tバッチリフレッシュ ▲9 先行労務費 ▲3)	▲ 28 ▲ 18
・高機能材料増	+ 2	増産関連コスト 小計	▲ 46
計	+ 19	為替レート 90 → 88円/\$	▲ 2
		エネルギー@他	▲ 3
		計	▲ 51
合計 ▲32			

27

## セグメント別営業利益



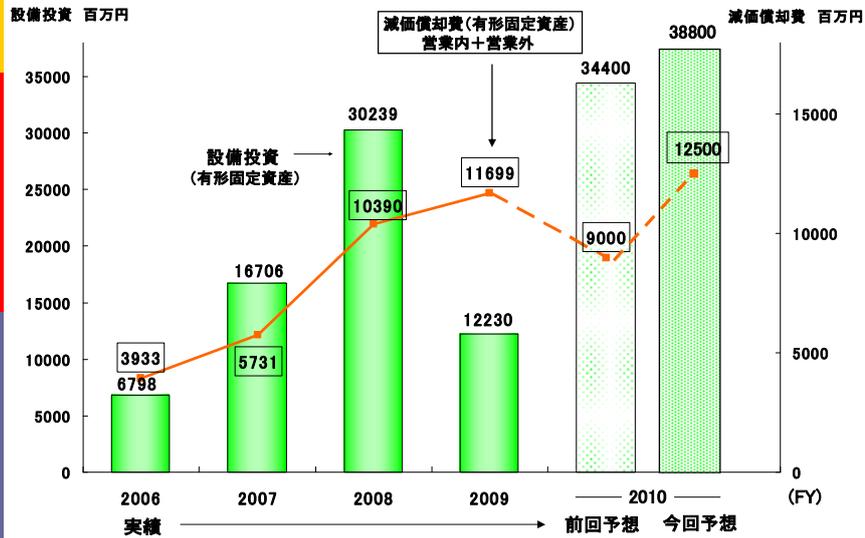
差異内訳(10前回→10今回) (億円)

	数量	単価	レート	増産 関連	他	計
チタン	+17	0	▲2	▲18	▲2	▲5
ポリシリコン	0	0	0	▲28	▲1	▲29
高機能	+2	0	0	0	0	+2
計	+19	0	▲2	▲46	▲3	▲32

28

(参考)

## 設備投資(土地除く)と減価償却費



29

## 終了

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、不確定要素を含んでおります。このため、様々な要因により、実際に生じる結果が予測内容と異なる可能性があることをご承知下さい。本資料利用によって生じるいかなる結果につきましても、当社が責任を負うものではありません。

30